

九州・沖縄の「元気印」企業 (2023/02/02 6面)

前年度比153社増の485社 3年ぶりに増加

[「元気印」企業社数・売上高推移グラフ／増収率トップ10](#) [業種別／県別社数構成比](#) [九州・沖縄「元気印」企業ランキング](#) 

東京商工リサーチは、2021年度九州・沖縄の「元気印」企業を発表した。前年度と比べ153社増えて485社と3年ぶりに増加に転じた。対象は、同社の企業データベースに登録されている九州・沖縄に本社を置く企業（単体）の中で、売上高が2期連続前期比110%以上、3期連続黒字かつ2期連続増益を続けるなど「元気印」の基準をクリアした企業。

ランクインした企業の売上総額は前年度比7283億円増（89.4%増）の1兆5426億円で2年連続増加し、3年ぶりに1兆円を超え過去12年間では2番目の高水準となった。県別では、社数増加が前年度の2県から全県で増加。業種別では前年度、全業種で減少したが、今回は運輸以外全業種で増加に転じた。

■売上高ランキング

元気印企業の売上高ランキングトップは、イオン九州（福岡市）で、巣ごもり需要のほか、20年9月にグループ会社のマックスバリュ九州、イオンストア九州を吸収合併し事業規模を拡大、業績を伸ばした。2位は三井ハイテック（北九州市）、世界的な半導体需要の高まりに加え、脱炭素社会に向けた電動車関連の需要が好調に推移した。3位はコクユー（熊本市）、4位はアプライド（福岡市）、パソコン小売店のほか、官公庁向けにコロナ禍のリモートワーク対応などが追い風となり業績好調を維持した。

■増収額ランキング

増収額ランキング1位は売上高1位のイオン九州。2位は売上高2位の三井ハイテック、3位は売上高3位のコクユー、4位は売上高10位のニューガイア（福岡市）、5位はB J C（同）、6位は売上高9位の千代田興産。7位は太陽光発電設備の販売施工を手掛ける常（北九州市）。同社は、西日本を中心に関東まで実績を有し、21年8月期に売上高100億円を突破した。8位は売上高7位の新菱（同）。9位は売上高8位のよかタウン（福岡市）。10位は売上高5位の熊本大同青果（熊本市）。業種別では卸売4

社、製造2社、不動産2社、小売1社、建設1社となった。

◆丸山工務店が大幅増収

■増収率ランキング

増収率ランキング1位は増収額5位のB J C。2位は不動産業を展開するアービック（北九州市）。3位は防水工事を展開する和泉工業（飯塚市）。4位は土木工事メインの新洋建設工業（宜野湾市）。5位は鉄骨工事などを手掛ける明新工業（北九州市）、6位は売上高10位のニューガイア。7位は3年ぶり3回目の登場となる丸山工務店（志布志市）。同社は、土木工事を主体に展開し地元官公庁工事のほか、畜産業者などからの受注も手掛け、大型案件の完工により、大幅増収を達成した。増収率ランキングトップ10のうち、建設業6社がランクインした。

◆建設業242社、全体トップ

【業種別】

コロナ禍の影響を色濃く受けた前年度は全業種で減少となったが、今回は運輸以外の6業種で増加に転じた。社数は建設が242社（社数構成比49.8%）で半数を占めトップ。次いでサービス業他104社、卸売53社、製造37社、小売24社、不動産20社、運輸5社。

建設の売上高トップは全体売上高16位、増収額7位の常で2年連続ランクイン。2位は大手ゼネコンに受注基盤を築き、とび工事などを手掛ける中村工業（福岡市）、天神ビッグバン関連やららぽーとなど大口案件が続き売上高100億円を突破。3位は土木、建築工事など官公庁工事を主体に受注基盤を構築する大和開発（宮崎市）、防災拠点庁舎や医師会病院など大口案件を手掛け21年6月期は過去最高売上を更新した。

【県別】

県別社数は1位が福岡の174社。次いで熊本、沖縄がそれぞれ60社、鹿児島51社、大分41社、宮崎38社、長崎37社、佐賀24社の順。前年度増加は佐賀、鹿児島の2県であったが、今回は全県で増加となった。

県別売上総額ではトップが福岡の1兆736億円で前年度比4911億円増、増加率でも84.3%増を記録。イオン九州をはじめ増収額トップ10に8社を輩出し売上を押し上げた。2位の熊本は1461億円で増収額1140億円、増加率355.3%増と大幅増となった。社数の増加件数は福岡に次ぐ2位で、かつ増収額トップ10に2社ラン

クインするなど好調さが際立った。3位は大分712億円、以下鹿児島611億円、沖縄582億円、宮崎518億円、長崎437億円、佐賀366億円の順だった。

◆行動制限緩和でV字回復

■まとめ

今回の登場社数は485社、前年度332社から153社増加した。前回は新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、行動制限を伴う緊急事態宣言の発令などにより、経済活動にも大きな影を落とした結果、社数が前年度比141社減の332社まで減少。経済活動に重きを置いた政策により、行動制限が緩和された結果、社数は前年度比153社増の485社まで伸長し、19年度の473社を上回りV字回復を遂げた。

年商3億円以上をあげた企業は2万5763社（22年12月時点）。今回の登場社数は485社で構成比は1.8%。

業種別では、運輸は昨年も外出自粛による旅客輸送の落ち込みで減少したが、本年度は物流、人流ともにコロナ禍からの回復がみられた一方、燃料費の高騰などから費用が増加し収益低下を招いた企業も多く、ランキングの登場社数はさらに減少した。

建設業は前年度比28%増と増加率は低いものの、業種別トップの242社が登場し、特に建築分野の登場社数の増加が目立った。製造では、世界的な需要の高まりから半導体関連が9社登場したほか、スクラップ価格の上昇を受け、スクラップ関連が4社ランクインし、前年度比76.1%増の37社となった。コロナ禍における需要増に対応した企業のランクインが多くみられた。

社数増加率では、トップの卸売120.8%増を筆頭に、小売、不動産の3業種が前年度から倍増。卸売は53社ランクインし、堅調な建設業にけん引され、建設資材関連が14社ランクインした。不動産では、福岡市を中心に堅調な不動産価格の推移で、マンションや戸建住宅販売において継続的な成長を遂げ、社数が倍増した。

※「元気印」企業の基準

- ・ 既往3期の業績比較
 - ・ 増収率…2期連続前期比110%以上
 - ・ 最新期売上高…3億円以上
 - ・ 増益率…2期連続前期比101%以上
 - ・ 最新期純利益…300万円以上
 - ・ 3期連続黒字（当期純利益）
- （対象決算期：2021年4月期～22年3月期）

[更新：2023/02/02 No：875003]